



URACからの情報提供（平成30年4月）

公募情報：URACからの情報提供の閲覧のお願い

本学TOPページ→研究・産官学連携 研究ポータルサイト内のニュースに、

外部からも確認できるように掲載されております。

(<http://www.rd.tuat.ac.jp/NEWS/index.html>)

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 文部科学省・平成30年度戦略目標

2) 大型基礎研究

JST：戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED：革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

3) 産学連携

JST：A-STEP

4) 未来社会創造事業 研究開発提案募集について

5) イノベーション・ジャパン2018 出展公募

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 文部科学省・平成30年度戦略目標

2) 大型基礎研究

JST：戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED：革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

3) 産学連携

JST：A-STEP

4) 未来社会創造事業 研究開発提案募集について

5) イノベーション・ジャパン2018 出展公募

文部科学省・平成30年度戦略目標 http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/1402580.htm

【戦略目標】（JST向け）

- トポロジカル材料科学の構築による革新的材料・デバイスの創出
- ゲノムスケールのDNA合成及びその機能発現技術の確立と物質生産や医療の技術シーズの創出
- Society5.0を支える革新的コンピューティング技術の創出
- 持続可能な社会の実現に資する新たな生産プロセス構築のための革新的反応技術の創出

【研究開発目標】（AMED向け）

- 生体組織の適応・修復機構の時空間的理解に基づく生命現象の探求と医療技術シーズの創出

（参考）今後のスケジュール（予定）

- ・ 4月上旬～6月上旬 研究課題の公募
- ・ 6月中旬～9月中旬 研究課題の選定
- ・ 10月上旬（予定） 研究の開始

【注】以上のスケジュールは現時点での予定であり、予告無く変更することがあります。

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 文部科学省・平成30年度戦略目標

2) 大型基礎研究

JST：戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

<http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html>

AMED：革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

3) 産学連携

JST：A-STEP

4) 未来社会創造事業 研究開発提案募集について

5) イノベーション・ジャパン2018 出展公募

平成30年度 **新規募集領域**（CREST さきがけ）

【戦略目標】

- トポロジカル材料科学の構築による革新的材料・デバイスの創出
- ゲノムスケールのDNA合成及びその機能発現技術の確立と物質生産や医療の技術シーズの創出
- Society5.0を支える革新的コンピューティング技術の創出
- 持続可能な社会の実現に資する新たな生産プロセス構築のための革新的反応技術の創出

平成30年度研究提案を募集する研究領域（全般）

<http://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian/top/ryoiki.html#sohyo>

スケジュール

応募締切

CREST : 平成30年6月5日（火）正午 厳守

さきがけ : 平成30年5月29日（火）正午 厳守

ACT-I : 平成30年5月29日（火）正午 厳守

平成30年度募集の**新規研究領域**

CREST

- ◇ 「[ゲノムスケールのDNA設計・合成による細胞制御技術の創出](#)」
(研究総括 塩見 春彦：慶應義塾大学 医学部 教授)
- ◇ 「[新たな生産プロセス構築のための電子やイオン等の能動的制御による革新的反応技術の創出](#)」
(研究総括 吉田 潤一：鈴鹿工業高等専門学校 校長 / 京都大学 名誉教授)
- ◇ 「[トポロジカル材料科学に基づく革新的機能を有する材料・デバイスの創出](#)」
(研究総括 上田 正仁：東京大学 大学院理学系研究科 教授)
- ◇ 「[Society 5.0を支える革新的コンピューティング技術](#)」
(研究総括 坂井 修一：東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授)

さがけ

- ◇ 「[ゲノムスケールのDNA設計・合成による細胞制御技術の創出](#)」
(研究総括 塩見 春彦：慶應義塾大学 医学部 教授)
- ◇ 「[電子やイオン等の能動的制御と反応](#)」
(研究総括 関根 泰：早稲田大学 理工学術院 教授)
- ◇ 「[トポロジカル材料科学と革新的機能創出](#)」
(研究総括 村上 修一：東京工業大学 理学院 教授)
- ◇ 「[革新的コンピューティング技術の開拓](#)」
(研究総括 井上 弘士：九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授)

※4月10日現在・公募内容は未公表

平成30年度募集の**既存研究領域**

CREST

- ・ 細胞外微粒子に起因する生命現象の解明とその制御に向けた基盤技術の創出
- ・ ナノスケール・サーマルマネージメント基盤技術の創出
- ・ 実験と理論・計算・データ科学を融合した材料開発の革新
- ・ 人間と情報環境の共生インタラクション基盤技術の創出と展開
- ・ 光の特性を活用した生命機能の時空間制御技術の開発と応用
- ・ 計測技術と高度情報処理の融合によるインテリジェント計測・解析手法の開発と応用
- ・ 量子状態の高度な制御に基づく革新的量子技術基盤の創出
- ・ イノベーション創発に資する人工知能基盤技術の創出と統合化

さきがけ

- ・ 量子技術を適用した生命科学基盤の創出
- ・ 生体における微粒子の機能と制御
- ・ 熱輸送のスペクトル学的理解と機能的制御
- ・ 人とインタラクションの未来
- ・ 生命機能メカニズム解明のための光操作技術
- ・ 計測技術と高度情報処理の融合によるインテリジェント計測・解析手法の開発と応用
- ・ 量子の状態制御と機能化
- ・ 新しい社会システムデザインに向けた情報基盤技術の創出

ACT- 1

- ・ 情報と未来(※)

募集説明会

（※1、※2は同一の説明内容となります）

H30年度に募集説明会を実施する研究領域	日時	場所
Society5.0を支える革新的コンピューティング技術（CREST）（※1）	4月12日(木) 9:50～17:00	JST東京本部別館 1階ホール
革新的コンピューティング技術の開拓（さががけ）（※1）		
人間と情報環境の共生インタラクション基盤技術の創出と展開（CREST）		
人とインタラクションの未来（さががけ）		
情報と未来（ACT-I）		
イノベーション創発に資する人工知能基盤技術の創出と統合化（CREST） ※CREST「人工知能」研究領域はWeb会議システムを経由した説明を実施いたします。		
新しい社会システムデザインに向けた情報基盤技術の創出(さががけ)	4月19日(木) 10:00～12:00	JST東京本部別館 2階会議室 A ①②
ナノスケール・サーマルマネジメント基盤技術の創出（CREST）		
熱輸送のスペクトル学的理解と機能的制御(さががけ)	4月23日(月) 15:00～16:30 10:30～12:00 (開催時間が変更になりました)	JST東京本部別館 2階会議室 A ①②
新たな生産プロセス構築のための電子やイオン等の能動的制御による革新的反応技術の創出（CREST）		
電子やイオン等の能動的制御と反応（さががけ）	4月23日(月) 13:00～14:00	TKP市ヶ谷 8階バンケットホール8A
実験と理論・計算・データ科学を融合した材料開発の革新（CREST）		
計測技術と高度情報処理の融合によるインテリジェント計測・解析手法の開発と応用（CREST・さががけ複合領域）	4月23日(月) 14:00～15:30	TKP市ヶ谷 8階バンケットホール8A
量子技術を適用した生命科学基盤の創出（さががけ）	4月24日(火) ※時間帯は調整中です	JST東京本部別館 2階会議室 A ①
Society5.0を支える革新的コンピューティング技術（CREST）（※1）	4月25日(水) 15:00～16:00	JST東京本部別館 2階会議室 A ①
革新的コンピューティング技術の開拓（さががけ）（※1）		
ゲノムスケールのDNA設計・合成による細胞制御技術の創出	平成30年度に説明会は実施しない 研究総括による募集方針説明ビデオを JSTのWebサイトにアップロードする予定	

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 文部科学省・平成30年度戦略目標

2) 大型基礎研究

JST：戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED：革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

https://www.amed.go.jp/koubo/04/02/0402B_00007.html

3) 産学連携

JST：A-STEP

4) 未来社会創造事業 研究開発提案募集について

5) イノベーション・ジャパン2018 出展公募

革新的先端研究開発支援事業（AMED-CREST、PRIME）

平成30年度文部科学省・研究開発目標

【平成30年度新規研究領域】

- 生体組織の適応・修復機構の時空間的理解に基づく生命現象の探求と医療技術シーズの創出

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/1402580.htm

【既存研究領域】

- 全ライフコースを対象とした個体の機能低下メカニズムの解明

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1382733.htm

- 宿主と微生物叢（そう）間クロストーク・共生の解明と健康・医療への応用

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/03/1368512.htm

公募期間

平成30年4月10日（火）～平成30年5月29日（火）正午（日本時間）

公募説明会

開催日：平成30年4月23日（月）

会場：フクラシア東京ステーション「H会議室」会場

〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6-1 朝日生命大手町ビル5F

https://www.amed.go.jp/koubo/04/02/0402B_00007.html

革新的先端研究開発支援事業 (AMED-CREST、PRIME)

研究開発領域「生体組織の適応・修復機構の時空間的解析による生命現象の理解と医療技術シーズの創出」

タイプ (制度)	研究開発費の規模	研究開発実施	新規採択課題 予定数
		予定期間	
ユニットタイプ (AMED-CREST)	1課題当たり総額	最長5.5年	3～6課題程度
	3億円以下 (間接経費を含まず)	平成30年度～平成35年度	
ソロタイプ (PRIME)	1課題当たり総額	最長3.5年	8～12課題程度
	4,000万円以下 (間接経費を含まず)	平成30年度～平成33年度	

研究開発領域「全ライフコースを対象とした個体の機能低下機構の解明」

タイプ (制度)	研究開発費の規模	研究開発実施	新規採択課題 予定数
		予定期間	
ユニットタイプ (AMED-CREST)	1課題当たり総額	最長5.5年	3～5課題程度
	3億円以下 (間接経費を含まず)	平成30年度～平成35年度	
ソロタイプ (PRIME)	1課題当たり総額	最長3.5年	8～12課題程度
	4,000万円以下 (間接経費を含まず)	平成30年度～平成33年度	

研究開発領域「微生物叢と宿主の相互作用・共生の理解と、それに基づく疾患発症のメカニズム解明」

タイプ (制度)	研究開発費の規模	研究開発実施	新規採択課題 予定数
		予定期間	
ユニットタイプ (AMED-CREST)	1課題当たり総額	最長5.5年	2～4課題程度
	3億円以下 (間接経費を含まず)	平成30年度～平成35年度	
ソロタイプ (PRIME)	1課題当たり総額	最長3.5年	8～10課題程度
	4,000万円以下 (間接経費を含まず)	平成30年度～平成33年度	

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 文部科学省・平成30年度戦略目標

2) 大型基礎研究

JST：戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED：革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

3) 産学連携

JST：A-STEP

4) 未来社会創造事業 研究開発提案募集について

5) イノベーション・ジャパン2018 出展公募

【再掲載・日付のみ更新】

平成30年度公募：研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

JST 産学連携分野

【今年度の変更点】

- ・前年度までの地域産学バリュープログラムは平成30年度には、研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 機能検証フェーズとして新規課題の募集が行われます。機能検証フェーズは試験研究 (300万) と実証研究 (1000万) の2タイプで実施し、JSTマッチングプランナーが産学連携のサポートをします。
- ・前年度のステージⅡシーズ育成は産学共創シーズ育成と名称が変更されます。

【公募締切】

A-STEP (研究成果最適展開支援プログラム)

- ・機能検証フェーズ：試験研究 第1回：平成30年5月15日 (火) 正午
- ・機能検証フェーズ：試験研究 第2回と実証研究：平成30年9月11日 (火) 正午
- ・産学共同フェーズ：平成30年5月10日 (木) 正午
- ・企業主導フェーズ：随時

【URACからのお願い】

機能検証：企業と共同研究を計画・予定している案件に関して、企業の要望事項を問題解決に向けた大学側の取り組みとして提案書の作成をご検討ください。
URACでは、随時、JSTマッチングプランナーの手配、ご相談等に対応します！

産学共同：提案先企業様とご検討の上、JSTの直接相談対応等URAがサポートをします！

【再掲載・日付のみ更新】

地域産学バリュープログラムは平成30年度より、**研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)**機能検証フェーズとして新たに3月中旬以降、順次新規課題の募集を開始する予定です（採択予定件数は調整中）。機能検証フェーズは試験研究タイプ、実証研究タイプの2つから構成されており、引き続きマッチングプランナーが産学連携の芽出しをサポートいたします。
※事業実施には平成30年度政府予算案の国会での可決・成立が必要となります。

A-STEP 機能検証フェーズ

	試験研究タイプ (旧・地域産学バリュープログラム)	実証研究タイプ (新設)
支援の目的	大学等シーズが企業ニーズの解決に資するかどうか確認するための試験研究を支援	企業との共同研究フェーズに進むために必要な実証的な研究を支援
募集期間	【第1回】2018年3月15日(木) ～5月15日(火) 正午 【第2回】2018年7月11日(水)～ 9月11日(火) 正午	2018年7月11日(水)～ 9月11日(火) 正午
研究開発費	上限300万円(グラント)	上限1,000万円(グラント)
研究開発期間	原則 1年間	原則 1年間
支援対象	原則 大学等	原則 大学等
研究開発開始	【第1回】2018年9月 【第2回】2018年12月	2018年12月

支援タイプの概要 : http://www.jst.go.jp/a-step/h30koubo_type.html

フェーズ	機能検証 (旧 : 地域産学バリュープログラム)		産学共同 (旧 : ステージⅡ)	企業主導 (旧 : ステージⅢ)	
支援タイプ	試験研究	実証研究 新設!	シーズ育成	NexTEP-B	NexTEP-A
支援対象	大学等シーズが企業ニーズの解決に資するかどうか確認するための試験研究を支援	企業との共同研究フェーズに進むために必要な実証的な研究を支援	大学等の研究成果に基づく技術シーズの可能性検証及び実用性検証を行い、中核技術の構築を目指す産学共同の研究開発を支援	研究開発型企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの実用化開発を支援	企業ニーズを踏まえた企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの実用化開発を支援
申請者	大学等の研究者		企業と大学等の研究者 (共同申請) プロジェクトリーダーは企業	企業	
募集分野	テーマ設定無し(ただし、医療分野は対象外)				
特許の要否	必要なし		応募時に、特許(出願中でも可)等の知的財産が必要		
研究開発費 (JST支出総額。 間接経費含む)	~300万円	~1,000万円	2,000万円 ~5億円	~3億円	1億円~15億円
研究開発期間	原則1年		2~6年	最長5年	最長10年
経費の種類	グラント		マッチングファンド		開発成功時返済
募集締切	5月15日(火) 正午	7月11日開始	5月10日(木) 正午	6月8日(火) 正午	随時

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 文部科学省・平成30年度戦略目標

2) 大型基礎研究

JST：戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED：革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

3) 産学連携

JST：A-STEP

4) 未来社会創造事業 研究開発提案募集について

5) イノベーション・ジャパン2018 出展公募

(予告) 未来社会創造事業 平成30年度 研究開発提案募集について

公募開始時期：平成30年4月下旬頃

未来社会創造事業における研究開発の特徴 <https://www.jst.go.jp/mirai/jp/application/idea/index.html>

- ・ 5～10年程度、最大20億円程度（総額）の規模の研究開発を実施。
- ・ 研究実施者は大学、企業、公的研究機関等。
- ・ 実用化が可能かどうかを見極められる段階（概念実証：POC）を目標とし、研究成果を企業や社会に積極的に引き渡し。

◆平成30年度公募予定領域 <https://www.jst.go.jp/mirai/jp/application/index.html>

1. 「[超スマート社会の実現](#)」領域（運営統括：前田 章）【継続1テーマ、**新規1テーマ**】
2. 「[持続可能な社会の実現](#)」領域（運営統括：國枝 秀世）【継続2テーマ、**新規1テーマ**】
3. 「[世界一の安全・安心社会の実現](#)」領域（運営統括：田中 健一）【継続2テーマ、**新規1テーマ**】
4. 「[地球規模課題である低炭素社会の実現](#)」領域（運営統括：橋本 和仁）【継続1件】
5. **共通基盤領域**
（領域発足予定。新規の重点公募テーマについて募集予定）

平成30年度「未来社会創造事業」(探索加速型)

● 未来社会創造事業(5領域)の重点公募テーマ「未来社会創造事業」 [Web\(予告\)ページ](#)

◆ 平成30年度重点公募テーマ(既存重点公募テーマ6つ、新規テーマ3つ及び共通基盤技術領域の募集予定)

1. 「超スマート社会の実現」領域(運営統括:前田 章)

[1-1「多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築」](#)(継続) (リンク先3-6ページ参照)

[1-2「サイバー世界とフィジカル世界を結ぶモデリングとAI」](#)(H30新規) (リンク先7-8ページ参照)

2. 「持続可能な社会の実現」領域(運営統括:國枝 秀世)

[2-1「新たな資源循環サイクルを可能とするものづくりプロセスの革新」](#)(継続) (リンク先3-4ページ参照)

[2-2「労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める「知」の拡張の実現」](#)(継続)
(リンク先5-6ページ参照)

[2-3「将来の環境変化に対応する革新的な食料生産技術の創出」](#)(H30新規)
(リンク先7-8ページ参照)

3. 「世界一の安全・安心社会の実現」領域(運営統括:田中 健一)

[3-1「ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築」](#)(継続) (リンク先3-6ページ参照)

[3-2「ヒューメインなサービスインダストリーの創出」](#)(継続) (リンク先7-10ページ参照)

[3-3「生活環境に潜む微量な危険物から解放された安全・安心・快適なまちの実現」](#)(H30新規)
(リンク先11-12ページ参照)

4. 「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域(運営統括:橋本 和仁)

[4-1「『ゲームチェンジングテクノロジー』による低炭素社会の実現」](#)(継続) (リンク先2-4ページ参照)

5. 共通基盤領域(領域発足予定。新規の重点公募テーマについて募集予定)

◎ 応募説明会日程について: URACで情報収集予定



JST 未来社会創造事業（ハイリスク・ハイインパクトな研究開発の推進）

平成30年度予算額（案）：5,500百万円
 平成29年度予算額：3,000百万円
 ※運営費交付金中の推計額

背景・課題

- 知識や価値の創出プロセスが大きく変貌し、経済や社会の在り方、産業構造が急速に変化する大変革時代が到来。次々に生み出される新しい知識やアイデアが、組織や国の競争力を大きく左右し、いわゆるゲームチェンジが頻繁に起こることが想定。
- 過去の延長線上からは想定できないような価値やサービスを創出し、経済や社会に変革を起こしていくため、新しい試みに果敢に挑戦し、非連続なイノベーションを積極的に生み出すハイリスク・ハイインパクトな研究開発が急務。

※各国ともハイリスク・ハイインパクトな研究開発を重視
 ・EU Horizon 2020
 約3,100億円/7年
 ・米国防衛研究開発局（DARPA）
 約3,000億円/年
 等

【成長戦略等における記載】

※基礎からPOC（概念実証）まで一貫した支援を行うため、戦略的創造研究推進事業と連携して運用。

- 第5期科学技術基本計画『国は、各府省の研究開発プロジェクトにおいて、挑戦的（チャレンジング）な研究開発の推進に適した手法を普及拡大する。』
- 科学技術イノベーション総合戦略2017『未来社会創造事業により、社会・産業ニーズを踏まえ、（中略）実用化が可能かどうか見極められる段階を目指した研究開発を進める。』

事業概要

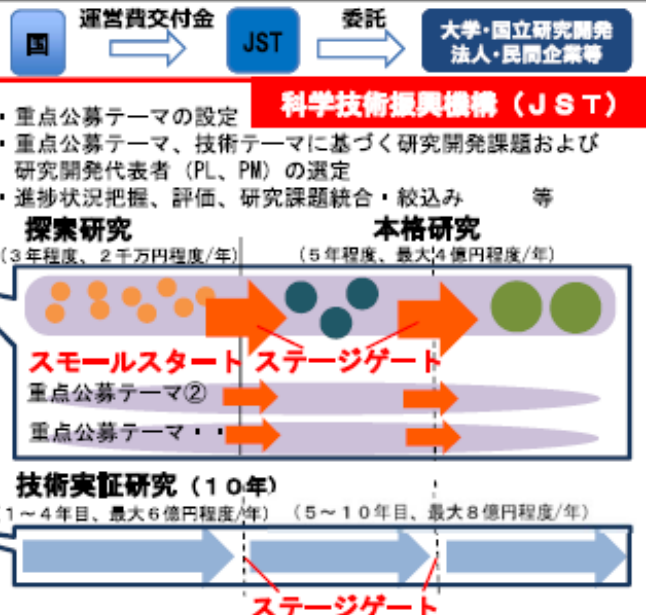
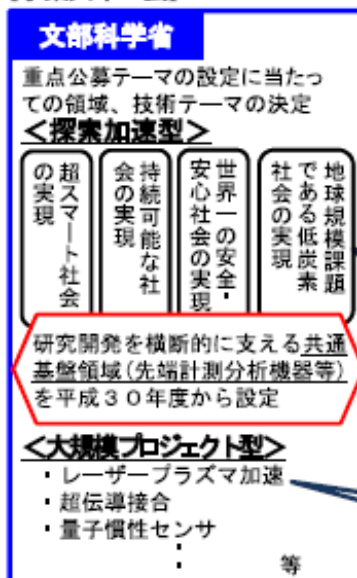
【事業の目的・目標】

- 社会・産業ニーズを踏まえ、経済・社会的にインパクトのあるターゲット（ハイインパクト）を明確に見据えた技術的にチャレンジングな目標（ハイリスク）を設定。
- 民間投資を誘発しつつ、戦略的創造研究推進事業や科学研究費助成事業等から創出された多様な研究成果を活用し、実用化が可能かどうかを見極められる段階（概念実証：POC）を目指した研究開発を実施。

【事業概要・イメージ】

- **探索加速型**：国が定める領域を踏まえ、JSTが情報分析及び公募等によりテーマを検討。斬新なアイデアを絶え間なく取り入れる仕組みを導入した研究開発を実施。
- **大規模プロジェクト型**：科学技術イノベーションに関する情報を収集・分析し、現在の技術体系を変え、将来の基盤技術となる技術テーマを国が特定。当該技術に係る研究開発に集中的に投資。
- 柔軟かつ迅速な研究開発マネジメント：
 - ・ **スモールスタート**で、多くの斬新なアイデアの取り込み。
 - ・ **ステージゲート**による最適な課題の編成・集中投資で、成功へのインセンティブを高める。
 - ・ テーマの選定段階から**産業界が参画**。研究途上の段階でも積極的な橋渡しを図る（大規模プロジェクト型は、研究途上から企業の費用負担、民間投資の誘発を図る）。

【事業スキーム】



【これまでの成果】

- 1,000件を超える提案を踏まえて重点公募テーマ6件を決定。
- 技術テーマ3件を決定。

平成30年度予算案内訳

探索加速型	重点公募テーマ	既存	6テーマ分
		新規	5テーマ分
大規模プロジェクト型	技術テーマ	既存	3テーマ分
		新規	3テーマ分

JST未来社会創造事業 平成29年度採択課題・プロジェクト

<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/project/index.html>

【探索加速型】

「超スマート社会の実現」領域

運営統括：前田 章（元株式会社日立製作所 ICT事業統括本部技師長）

重点公募テーマ「多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築」

研究開発課題名	代表者氏名	所属機関・役職
Synergic Mobilityの創出	河口 信夫	名古屋大学 未来社会創造機構 教授
シェアード・シティ・プラットフォームの構築	竹内 雄一郎	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 アソシエイトリサーチャー
機械・人間知とサイバー・物理世界の漸進融合プラットフォーム	田野 俊一	電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 教授・ 研究科長
構想駆動型社会システムマネジメントの確立	西村 秀和	慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジ メント研究科 教授
超スマートシティ・サービスマネジメント・プラットフォームの構築	林 泰弘	早稲田大学 理工学術院 教授
データ中心で異種システムを連携させるサービス基盤の構築	松塚 貴英	富士通株式会社 デジタルビジネス プラット フォーム事業本部 シニアマネージャ

JST未来社会創造事業 平成29年度採択課題・プロジェクト

【探索加速型】

<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/project/index.html>

「持続可能な社会の実現」領域

運営統括：國枝 秀世（名古屋大学 審議役）

重点公募テーマ「新たな資源循環サイクルを可能とするものづくりプロセスの革新」

研究開発課題名	代表者氏名	所属機関・役職
製品ライフサイクル管理とそれを支える革新的解体技術開発による統合循環生産システムの構築	所 千晴	早稲田大学 理工学術院 教授
Pイノベーション創出技術開発	長坂 徹也	東北大学 工学研究科 副研究科長・教授
リマンを柱とする広域マルチバリュー循環の構築	松本 光崇	産業技術総合研究所 製造技術研究部門 主任研究員
革新的ハロゲン循環による材料の高資源化プロセスの開発	吉岡 敏明	東北大学 大学院環境科学研究科 教授

重点公募テーマ

「労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める『知』の 拡張の実現」

研究開発課題名	代表者氏名	所属機関・役職
学習アナリティクス基盤の拡張による多世代共創及び社会活動支援	木實 新一	九州大学 基幹教育院 教授
認知科学と制御工学の融合による知能化機械と人間の共生	鈴木 達也	名古屋大学 大学院工学研究科 機械システム工学専攻 教授
「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン	谷口 忠大	立命館大学 情報理工学部 教授

JST未来社会創造事業 平成29年度採択課題・プロジェクト

<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/project/index.html>

【探索加速型】

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

運営統括：田中 健一（三菱電機株式会社 役員技監）

重点公募テーマ「ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築」

研究開発課題名	代表者氏名	所属機関・役職
マルチビュー画像計測技術によるエネルギー輸送インフラの安全・安心運用の実現	河野 行雄	東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 准教授
スーパーセキュリティゲートの実現	木村 建次郎	神戸大学 大学院理学研究科 准教授
情報基盤と連携したリアルタイム救急・災害時支援システム	阪本 雄一郎	佐賀大学 救急医学講座 教授
個人及びグループの属性に適応する群集制御	西成 活裕	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
都市浸水リスクのリアルタイム予測・管理制御	古米 弘明	東京大学 工学系研究科 教授

JST未来社会創造事業 平成29年度採択課題・プロジェクト

【探索加速型】

<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/project/index.html>

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

運営統括：田中 健一（三菱電機株式会社 役員技監）

重点公募テーマ「ヒューメインなサービスインダストリーの創出」

研究開発課題名	代表者氏名	所属機関・役職
健康寿命延伸のためのパーソナルライフケアICT基盤の創出	天野 良彦	信州大学 学術研究院（工学系） 教授
絶好調維持システムを目指した先制治療「ナノ・セラノスティクス」の実現	一柳 優子	横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授
健康モデル化によるスマートインタラクティブサービス	貝原 俊也	神戸大学 大学院システム情報学研究科 教授
セルフデータ収集によるヘルス・セントリック社会の創出	洪 繁	慶應義塾大学 医学部 准教授
半導体バイオセンサ技術によるヘルスマonitoringサービスの実現	坂田 利弥	東京大学 大学院工学系研究科 准教授
会話の空気を読み取るAIによるフワキラ空間の構築	坂本 真樹	電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授
香りの機能拡張によるヒューメインな社会の実現	東原 和成	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
ヒューマン嗅覚インタフェースによる香りの再現とその応用	中本 高道	東京工業大学 科学技術創成研究院 教授
スマート健康パッチによる水分マネジメント	西澤 松彦	東北大学 工学研究科 教授
自発・自律型エビデンスに基づくBathing Navigationの実現	早坂 信哉	東京都市大学 人間科学部児童学科 教授
認知症ゼロ社会の実現へ向けた未病検診サービス	村瀬 研也	大阪大学 大学院医学系研究科保健学専攻 教授
新健康指標PAMs：アルクダケで健康管理	八木 康史	大阪大学 産業科学研究所 理事・副学長

JST未来社会創造事業 平成29年度採択課題・プロジェクト

【探索加速型】

<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/project/index.html>

「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域

運営統括：橋本 和仁 (国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事長)

重点公募テーマ「『ゲームチェンジングテクノロジー』による低炭素社会の実現」1/2

研究開発課題名	代表者氏名	所属機関・役職
100MHzスイッチング電源用磁心材料開発	佐藤 敏郎	信州大学 学術研究院 工学系 教授
二酸化炭素からの新しいGas-to-Liquid触媒技術	椿 範立	富山大学 大学院理工学研究部 (工学) 教授
CO₂分離機能とエイジング耐性を兼備した多孔性複合膜	Sivaniah Easan	京都大学 高等研究院 教授
低温改質によるC₁化学の低エネルギー化	阿尻 雅文	東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授
電場中での低温オンデマンド省エネルギーアンモニア合成	関根 泰	早稲田大学 理工学術院 教授
酸素・窒素を活用したチタン積層造形体の高強靱化	近藤 勝義	大阪大学 接合科学研究所 教授
凍結乾燥POEM法による積層造形用合金粉末の開発	野村 直之	東北大学 大学院工学研究科 准教授
実用的中温動作型水素膜燃料電池の開発	青木 芳尚	北海道大学 大学院工学研究院 准教授
アニオン電池の社会実装を志向した要素技術の開発	津田 哲哉	大阪大学 大学院工学研究科 准教授
SnからなるPbフリーペロブスカイト太陽電池の開発	早瀬 修二	九州工業大学 大学院生命体工学研究科 教授
超薄型結晶Si系トリプル接合太陽電池	小長井 誠	東京都市大学 総合研究所 特任教授

JST未来社会創造事業 平成29年度採択課題・プロジェクト

【探索加速型】

<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/project/index.html>

「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域

運営統括：橋本 和仁 (国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事長)

重点公募テーマ「『ゲームチェンジングテクノロジー』による低炭素社会の実現」2/2

研究開発課題名	代表者氏名	所属機関・役職
中分子膜輸送強化による発酵技術改革	柘植 丈治	東京工業大学 物質理工学院 准教授
多段階ボトムアップ式構造制御によるセルロースナノファイバーの高度特性発現	齋藤 継之	東京大学 大学院農学生命研究科 准教授
ミルキング法によるバイオ燃料生産の高効率化と安定化	小俣 達男	名古屋大学 大学院生命農学研究科 教授
弱酸性化海水を用いた微細藻類培養系及び利用系の構築	宮城島 進也	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 教授
雑種強勢の原理解明によるバイオマス技術革新	佐塚 隆志	名古屋大学 生物機能開発利用研究センター 准教授
空気を肥料とする窒素固定植物の創出	藤田 祐一	名古屋大学 大学院生命農学研究科 教授
細胞表層工学と代謝工学を用いたPEP蓄積シャーシ株の創製	田中 勉	神戸大学 大学院工学研究科 准教授
光駆動ATP再生系によるVmax細胞の創製	原 清敬	静岡県立大学 食品栄養科学部 准教授
複合微生物群集の合理的設計による有機性廃棄物の二次資源化	本田 孝祐	大阪大学 大学院工学研究科 准教授
新規マイクロカプセル化蓄熱材による低炭素社会の実現	鈴木 洋	神戸大学 大学院工学研究科 教授
電気自動車用への走行中直接給電が拓く未来社会	藤本 博志	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 文部科学省・平成30年度戦略目標

2) 大型基礎研究

JST：戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED：革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

3) 産学連携

JST：A-STEP

4) 未来社会創造事業 研究開発提案募集について

5) イノベーション・ジャパン2018 出展公募

JSTとNEDO共同主催によるイノベーション・ジャパンは、国内大学等の400を超える研究シーズが一同に会する国内最大規模のマッチングイベントです。今年で15回目を迎え、昨年度の来場者数は2日間で25,000人超となりました。研究成果の実用化に向けた企業とのマッチングの機会としてご活用ください。

- 出展にご興味・ご関心のある方は、suishin@ml.tuat.ac.jp までご連絡ください。
(3月26日(月) 教職員ポータルにて依頼済)

★第一次締切：4月16日(月) ★最終締切 : **4月20日(金) 17:00**

以下の点にご留意下さい。

- ※ 代表研究者が2日間とも説明者としてブースに滞在できること
- ※ ポスター以外の展示物があること (実物の展示やモニター等による映像表示等)
- ※ 出展は、JSTの審査により決定となること

●概要

- 名称 : イノベーション・ジャパン2018～大学見本市&ビジネスマッチング～
開催期間 : 8月30日(木) 9:30～17:30 8月31日(金) 10:00～17:00
会場 : 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)
 西展示棟 西1ホール <http://www.bigsight.jp/>
主催 : 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
共催予定 : 文部科学省、経済産業省
入場料 : 無料
参考 : 昨年度公式サイト <http://www.jst.go.jp/tt/fair/ij2017/index.html>

今後もURACでは、公募情報等をHPで発信します。

本学TOPページ→研究・産官学連携 研究ポータルサイト内のニュース
に外部からも確認できるように掲載。

ご清聴ありがとうございました

内線 7273

urac@ml.tuat.ac.jp

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)